

EU Indicators

欧州経済指標コメント：2月ドイツ I f o 企業景況感

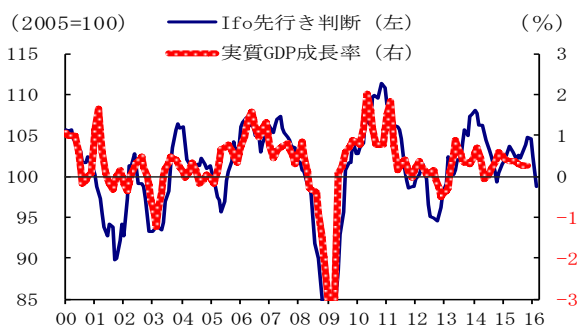
発表日：2016年2月23日(火)

～不安の罠に陥るな～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

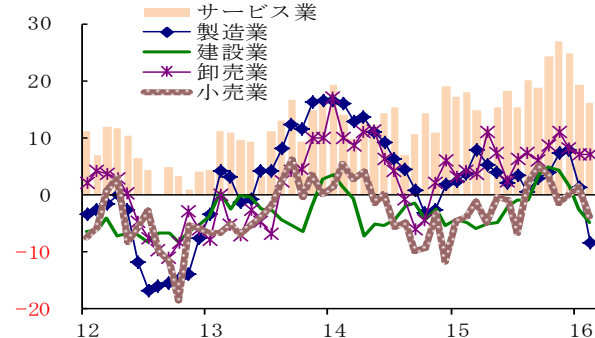
- 2月のドイツの I f o 企業景況感（2005年=100の指数）は3ヶ月連続で落ち込み、2014年12月以来の水準に低下した。内訳は、現状判断が過去2ヶ月の落ち込みから小幅改善し、堅調な水準を維持した一方で、先行き判断が前月から3.5ポイント急落し、2012年12月以来の水準に落ち込んだ。先行き判断の悪化は3ヶ月連続で、その間の累積の落ち込み幅は6.0ポイントと2012年央以来の大きさ。“騙し”もあるが、先行き判断の水準は過去にマイナス成長に陥った局面に相当する（左図）。
- 業種別の先行きの業況判断（ゼロが分岐点）は、卸売業（前月：+7.0→今月：+7.0）が改善基調を維持したのを除き、製造業（+1.2→▲8.5）、建設業（▲2.5→▲5.0）、小売業（+1.2→▲3.9）が軒並み悪化した（右図）。同時に発表されたサービス業の先行きの業況判断（+19.2→+16.0）は改善基調を維持したものの、昨年11月（+26.9）をピークに水準を切り下げている。
- こうした姿は前日に発表された2月のユーロ圏のPMIでも確認された通り。世界的な景気減速懸念、金融市場の動揺、ドイツ大手行を巡る不安などを背景に、企業の景況に影を落としている。現状判断は全般に底堅く、今のところ不安先行の側面が強いが、先行きの業況悪化は投資手控えなどを通じて景気を下押しする。足許で金融市場の不安増幅に歯止めが掛かっており、不安の連鎖は断ち切られるとみるが、来月もさらなる業況悪化が続くようだ、いよいよドイツ景気の先行きに暗雲が漂う。

■ドイツ：Ifo先行き判断と実質GDP成長率



出所：Ifo、ドイツ連邦統計局

■ドイツ：業種別の先行きの業況判断



出所：Ifo

■ドイツ I f o 企業景況感

| | 2015 | | | | 2015 | | | | | | | | 2016 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| 企業景況感(総合) | 107.2 | 108.3 | 108.4 | 108.6 | 108.6 | 107.6 | 108.1 | 108.4 | 108.6 | 108.2 | 109.0 | 108.6 | 107.3 | 105.7 |
| 現状指数 | 111.8 | 114.1 | 114.4 | 113.0 | 114.6 | 113.5 | 114.1 | 114.9 | 114.1 | 112.7 | 113.5 | 112.8 | 112.5 | 112.9 |
| 先行き指数 | 102.7 | 102.8 | 102.7 | 104.4 | 102.9 | 102.1 | 102.5 | 102.2 | 103.3 | 103.8 | 104.8 | 104.6 | 102.3 | 98.8 |
| 業況判断 | 7.4 | 9.6 | 9.7 | 10.2 | 10.2 | 8.3 | 9.3 | 9.8 | 10.1 | 9.4 | 11.0 | 10.2 | 7.7 | 4.5 |
| 製造業 | 10.4 | 13.0 | 11.0 | 11.4 | 13.7 | 11.2 | 11.7 | 11.2 | 10.2 | 9.7 | 12.3 | 12.3 | 8.1 | 3.4 |
| 建設業 | -6.2 | -4.4 | -2.0 | 1.2 | -4.6 | -3.5 | -4.0 | -2.5 | 0.4 | 0.6 | 2.2 | 0.9 | -0.5 | 0.3 |
| 卸売業 | 9.0 | 10.3 | 13.8 | 13.7 | 10.1 | 7.9 | 14.3 | 13.3 | 13.9 | 13.9 | 15.2 | 11.9 | 13.1 | 12.3 |
| 小売業 | 4.0 | 5.3 | 10.0 | 8.9 | 7.1 | 5.9 | 4.3 | 10.8 | 14.8 | 11.0 | 8.3 | 7.3 | 7.2 | 4.4 |

出所：Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。